

## 施工手順書⑨-1

## フィット(fit)

## スイングドア

## ステルス枠 施工手順書一覧

## 共通

※シリーズ専用以外の共通編の施工手順書は工事内容別で下記の①、②、③に分かれています。  
 ※マルコシリーズの2・3枚引違い戸(上吊)、2枚引込み戸(上吊・連動)は共通編をご覧ください。  
 ※本書の準耐火仕様とは、ご注文の際に当社の「準耐火仕様」を選択した場合に限ります。

- |            |   |
|------------|---|
| ①木工事       | ①-1.木工事・標準仕様 / ①-2.木工事・準耐火仕様  |
| ②クロス・塗り壁工事 |   |
| ③扉・金物の取付   | ③-1. 片開き戸、親子戸<br>③-2. 片引き戸(上吊)、ポケット戸(上吊)、2枚引違い戸(上吊)<br>③-3. 2・3枚引込み戸(上吊・連動)、3枚引違い戸(上吊・連動/非連動)<br>③-4. 片引き戸(床付レール) |

## シリーズ専用

※シリーズ専用の施工手順書(④~⑨)は木工事、クロス・塗り工事、扉・金物の取付が一式含まれます。

- |            |   |
|------------|---|
| ④クローゼット    | ④-1. 折れ戸 ④-2. 物入片開き戸、両開き戸、物入4枚・6枚開き戸<br>④-3. スライド片開き戸 |
| ⑤オートマチックドア | ⑤-1. 片引き戸(上吊) ⑤-2. 片開き戸                               |
| ⑥ヴェトロ      | ⑥-1. アウトセット片引き戸(上吊) ⑥-2. 片開き戸                         |
| ⑦カエサル      | ⑦-1. スイングドア、サイドガラスユニット                                |
| ⑧マルコ       | ⑧-1. 3枚引込み戸(上吊・非連動) ⑧-2. 2枚引分け戸、4枚引違い戸(上吊)            |
| ⑨フィット      | ⑨-1. スイングドア ⑨-2. 片引き戸(上吊) ⑨-3. 2枚引違い戸(上吊)             |

# 施工を担当される方へ

安全のために必ずお守りください



注意

## ● 施工前にこの手順書をよく読み、正しく施工してください

- 枠・下地枠の取付は、水平・垂直・ねじれがないかを必ずご確認し、確実な固定を行ってください。
- 本製品の組み立てで付属ビスがある場合には、必ずそのビスを使用してください。  
付属ビス以外で取り付けた場合、部材の脱落や枠のゆるみ等が発生する恐れがあります。



## ● ケガや事故防止のため、以下の事項を必ずお守りください

- 風の強い場所では開き戸が強く閉まるなどして手をはさむ恐れがありますので  
扉を開け放しにしないようご注意ください。
- 運搬作業時は滑り止めの手袋を着用し、扉建て付け時には十分気をつけて行ってください。



## ● 施工前及び施工時の確認

- 本製品は屋内用ですので、屋外や水がかりする箇所には使用しないでください。
- 本製品は内装扉を用途とする商品です。他の用途として使用したり、本手順書と異なった施工をした場合の保障は当社では責任を負いかねます。
- 高温・高湿の環境条件では使用できません。
- 施工前に部材の数量・キズの有無をご確認ください。  
施工後のキズについては当社では責任を負いかねます。
- 部材を保管する場合は湿気・直射日光を避け、十分な養生をしてください。
- 開口部または枠の寸法を測り、躯体または枠が正確に施工されているか、  
ご用意の扉サイズが適切かどうかご確認願います。
- 施工時に電動ドライバーを使用する場合は、カラモミを防ぐため最後の締め付けは  
必ず手締めにて行ってください。
- 扉の調整の際には、電動ドライバーは絶対に使用しないでください。  
ビス類が破損し、調整できなくなることがあります。
- 扉や枠の表面に、長時間テープを貼らないでください。汚れ・破損・色ムラの原因になります。  
また、突き板塗装ドアの場合、塗装仕上げ面には絶対にテープを貼らないでください。

## ● 施工後の処理

- お施主様への引渡し前に、工事管理者が必ず点検を行い、不具合箇所を補修してください。
- 施工後はキズが付かないように養生してください。  
このとき、表面にテープを直接貼らないでください。  
また、突き板塗装ドアの塗装仕上げ面には絶対にテープを貼らないでください。
- 清掃の際は水を固く搾った布で汚れを落とした後、柔らかい布で乾拭きしてください。  
また、汚れが落ちにくい場合は、薄めた中性洗剤で汚れを落とした後、  
洗剤が残らないようによく拭き取ってください。
- 内装工事が終了するまでの間は、扉をはずして保管されることをお勧めします。

# □ スイングドア【フィット専用】

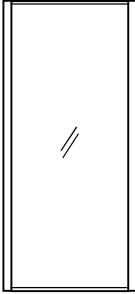
フィット



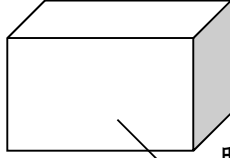













施工手順書2021/1作成

施工手順書2021/9更新

## ■ 製品及び同梱内容の確認

● 製品を開梱して、同梱品に間違いがないか確認をお願いします。

建具			同					
部材	数量	備考						
開き戸	1枚							
				梱				
			品					


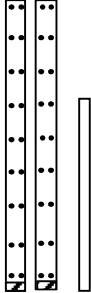
建具金物箱			ハンドル	ハンドル用ビス			
部材	数量	備考	 ×2ヶ	 4本			
金物箱	10セットに付1箱		下部フロアヒンジ受け	フロアヒンジ取り付けビス	アンカーセット及び六角レンチ	上部フロアヒンジ受け	
 邸別段ボール箱			同	 1セット	 4本	 1セット	 1ヶ
				扉側上部ヒンジ	上部ヒンジ取付けビス(半ネジ)	扉側下部ヒンジ	下部ヒンジ取付けビス(全ネジ)
				 1ヶ	 8本(M5×25)	 1ヶ	 13本(M4.5×25)
				扉側下部ヒンジカバー	扉側上部ヒンジカバー	下部ヒンジカバー取付けビス	
			品	 1ヶ	 1ヶ	 2ヶ/1セット	
				六角レンチ(M3)	六角レンチ(M4)		
				 下部フロアヒンジ受け用 1ヶ	 扉側上部ヒンジ用 1ヶ		

# □ スイングドア【フィット専用】

フィット

施工手順書2021/1作成

施工手順書2021/9更新

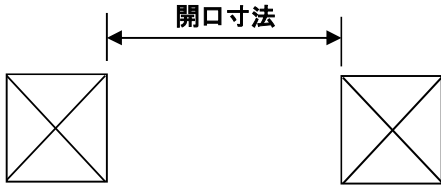
下地枠			同	施工手順書			
部材	数量	備考		梱			
縦枠下地	2本		H24			28本	
開口定規	1本	下地枠内寸法用	H26	28本			
			品				

# □スイングドア【フィット専用】

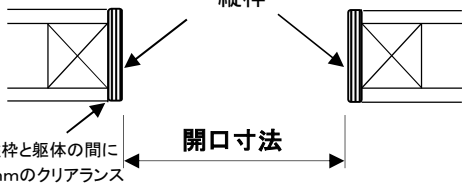
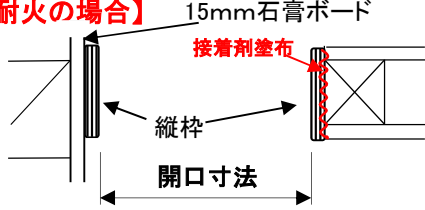
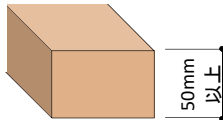
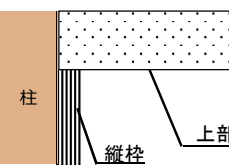

フィット

施工手順書2021/10更新

## 1 施工前の確認事項

<p>① 開口部の中と高さの確認をしてください（納まり図を参照し、寸法を確認してください）。</p>			
	<p>開口寸法の確認</p>		
<p><b>注意</b></p>	<p>※開口部(柱・まくさ等)の水平・垂直・前後の倒れ・ねじれ等がないか、水平器等で十分に確認してください。</p>		

## 2 縦枠の取付け及び上部木下地の取付け

<p>① 柱部に縦枠を取付けて、開口寸法を確認してください。 柱と縦枠の間には2mmのクリアランスを入れ、最後に接着剤をつけたクサビ等を差込み固定してください。 <b>※準耐火納まりには2mmのクリアランスは不要です。</b></p>		<p><b>【準耐火の場合】</b> 15mm石膏ボード 接着剤塗布</p>  <p><b>【準耐火の場合】</b> 壁平面に取付けの場合、15mm石膏ボードの上から縦枠を取付ける</p>	
<p>② 吊元側天井に上部ヒンジ受けを取付けるため、厚み50mm以上の上部木下地を取付けてください。 この時、上部木下地は天井高さに合わせてください。</p>	<p>上部木下地</p> 	<p>吊元側天井縦断面</p> 	<p>吊元側天井見上げ写真</p> 
<p><b>注意</b></p>	<p>※上部木下地は必ず厚み50mm以上にしてください。</p> <p>上部木下地を用意する (厚み50mm以上)</p> <p>縦枠は天井面まで、上部木下地の下端を天井面に合わせて取付ける</p>		

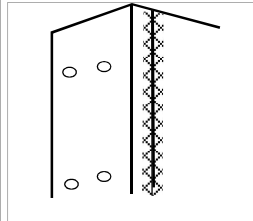
# □スイングドア【フィット専用】

フィット

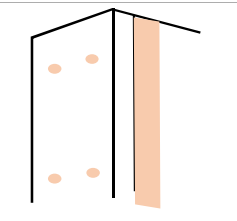
施工手順書2021/10更新

## 3 クロス施工

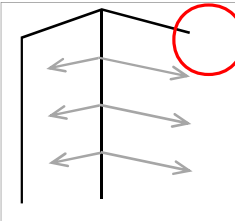
- ① 縦枠と石膏ボードのジョイント部にメッシュテープを貼り、パテ等の下地処理を行ってください。  
下地処理が完了した後でクロスを貼ってください。  
金物加工部をまたいでクロスを貼ってください。



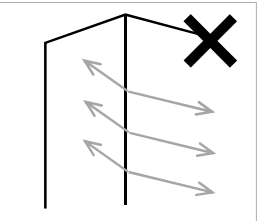
ジョイント部をまたいでメッシュテープを貼る



ビス穴、メッシュテープ部、及び縦枠の木口面全体にパテを塗る(下塗り、上塗り)



枠に巻き込む際、クロスは上下左右余裕をもったサイズでまっすぐ貼る

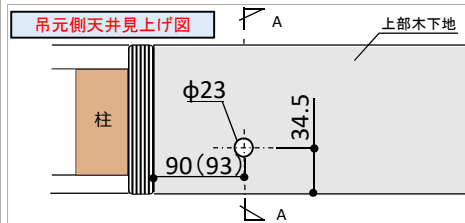


クロスを過度な力で斜めに引っ張りながら貼るとクロスよれの原因となります

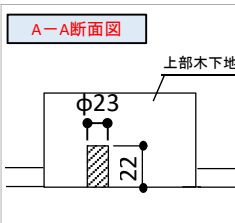
注意

## 4 上部木下地の加工

- ① 上部木下地に上部フロアヒンジ受けを取付けるため、φ23 深さ22mmの穴加工をしてください。  
※上部フロアヒンジ受けと下部フロアヒンジ受けのセンターがずれないように取付けてください。



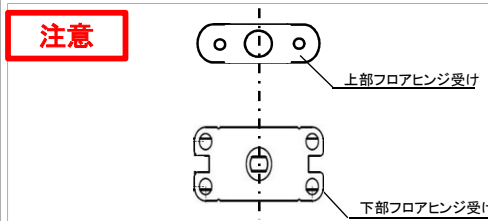
穴加工位置  
( ) 内寸法は塗り壁仕様の縦枠内からの寸法を示す



穴加工断面寸法  
φ23 深さ22mm



穴加工部見上げ写真



上部フロアヒンジ受けのセンターは下部フロアヒンジ受けのセンターとずれないように取付ける

注意

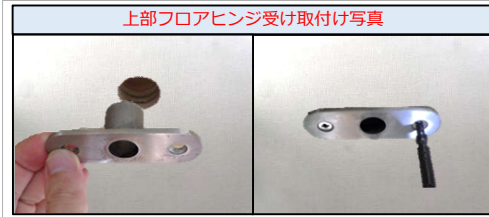
# □スイングドア【フィット専用】

フィット

施工手順書2021/10更新

## 5 上部フロアヒンジ受け（上枠側）の取付け

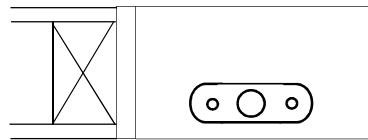
- ① 上部木下地の穴加工部に、上部フロアヒンジ受けを同梱ビス（M5×25 半ネジ）で取付けてください。



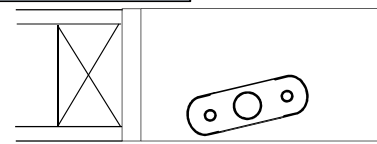
穴加工部に上部フロアヒンジ受けを同梱ビス（M5×25 半ネジ）で取付け

金物は扉開口に対して平行になるように取付けてください。

吊元側天井見上げ図



吊元側天井見上げ図

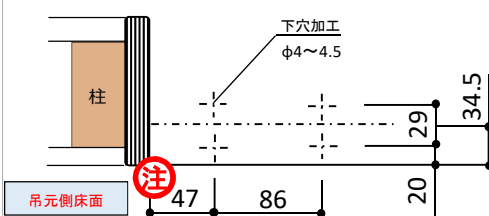


※上部フロアヒンジ受けをビス止めする時は、扉開口に対して平行になるように取付けてください。

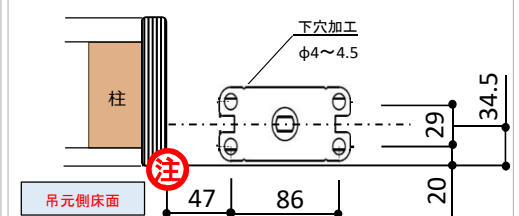
注意

## 6 下部フロアヒンジ受けの取付け

- ① 吊元側床面に下部フロアヒンジ受けの取付け用下穴加工（φ4～4.5）をしてください。下部フロアヒンジ受けを下穴加工位置に合わせて、同梱のビス（M6×35）4本で止めてください。

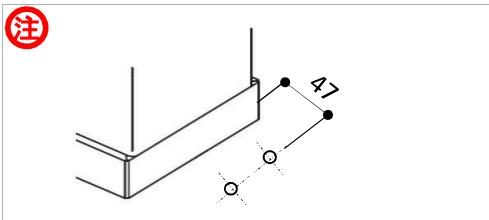


吊元側の床面（上図寸法位置）に下部フロアヒンジ受け用の下穴加工（φ4～4.5）をする（4箇所）

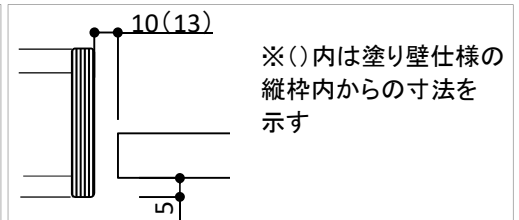


下穴加工位置に合わせて、同梱のビス（M6×35）4本で止める

- ② 【注意】  
上図の下穴加工位置の47mmの寸法はシンプル幅木からの寸法を示しています。また、フロアヒンジの取付け位置は扉位置が縦枠前面より5mm、縦枠内より10(13)mmの場合の寸法を示します。



図の47mmはシンプル幅木からの寸法を示す



※( )内は塗り壁仕様の縦枠内からの寸法を示す

図の取付け用下穴加工位置は扉位置が縦枠前面より5mm、縦枠内より10(13)mmの場合を示す

※下穴加工は寸法通りあけてください。下穴加工位置がずれると下部フロアヒンジ受けが斜めに取付いてしまいます。

注意

# □スイングドア【フィット専用】

フィット

施工手順書2021/10更新

## 7 扉側下部フロアヒンジ軸の回転

- ① 建具金物箱から扉側の下部ヒンジを取出し、下部フロアヒンジ受けに軸を入れてください。下部ヒンジを持って軸をA面側に90度回転させてください。

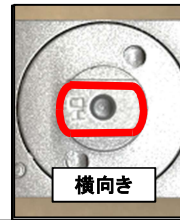


下部フロアヒンジ受けに軸を入れ、下部ヒンジを持って軸をA面側に90度回転させる。

- ② 扉側の下部ヒンジの軸が90度回転していることを確認してください。



軸  
(初期設定: 横向き)



軸90度回転



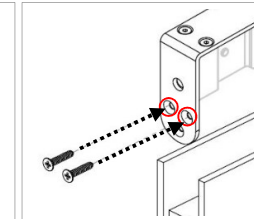
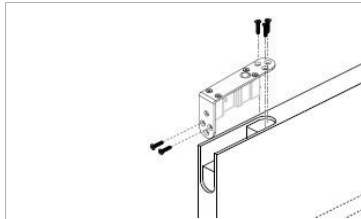
軸が写真のように縦向きになっていることを確認

注意

※必ず扉側の下部フロアヒンジの軸を90度回転させ、軸を縦向きにしてください。軸を回転しないと扉を吊り込めません。

## 8 扉側ヒンジ金物の取付け

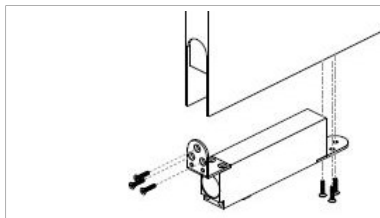
- ① 扉上端の加工部に扉側上部ヒンジを同梱ビス (M5×25 半ネジ) 5本で取付けてください。



扉上端の加工部に扉側上部ヒンジを取付ける

※平行に空いている穴にビスを取付ける

- ② 扉下端の加工部に扉側下部ヒンジを同梱ビス (M4.5×25 全ネジ) 6本で取付けてください。



扉下端の加工部に扉側下部ヒンジを取付ける

注意



# □スイングドア【フィット専用】

フィット

施工手順書2021/10更新

## 9 扉の吊り込み

<p>① 扉をA面側に90度開いた状態で下部フロアヒンジ受けに扉側の下部ヒンジの軸を入れてください。 ※必ず手順7でヒンジを回した方と同じ方向から吊り込んでください。</p>	 <p>扉をA面側に90度開いた状態で、下部フロアヒンジ受けに扉側の下部ヒンジの軸を入れる</p>	
<p>② 扉を90度開いた状態で、上部フロアヒンジ受けの軸受けと、扉側の上部ヒンジの軸芯を合わせてください。 扉側の上部ヒンジの小口面の調整ネジを六角レンチ(M4)で回し、軸芯を全て出して軸受けに入れてください。</p>	 <p>軸受けと軸芯を合わせ、調整ネジを回して軸芯を軸受けに入れる</p>	
<p><b>注意</b></p>	<p>※軸芯は必ず全て出して、軸受けに入れてください。 ※扉側の下部ヒンジの軸が入らない場合は、本手順書「4 扉側下部フロアヒンジ軸の回転」を行ってください。 ※手順7でヒンジを回した方向と同じ方向から吊り込まないと扉が開く方向に動くので、必ず同じ方向から吊り込んでください。</p>	

## 10 扉の閉鎖位置調整 及び 開口との隙間調整

<p>① 【閉鎖位置の調整】 【開口との隙間調整】 まず、下部フロアヒンジ受けの6箇所全ての調整ネジを六角レンチ(M3)で緩めてください。 扉の閉鎖位置が正常な位置となるように調整してください。 また、開口との隙間が正常な位置となるように調整してください。</p>	<p>扉の閉鎖位置調整</p>  <p>6箇所調整ネジ（赤矢印部）を六角レンチ(M3)で「扉の閉鎖位置」と「開口との隙間」を調整</p>  <p>【閉鎖位置の調整】 上記写真の4本の調整ネジを六角レンチで調整</p> <p>【開口との隙間調整】 上記写真の2本の調整ネジを六角レンチで調整</p>	 <p>【閉鎖位置の調整】 上記写真の4本の調整ネジを六角レンチで調整</p> <p>【開口との隙間調整】 上記写真の2本の調整ネジを六角レンチで調整</p>
<p><b>注意</b></p>	<p>※調整をする時は一度6箇所の調整ネジを全て緩めてから調整をしてください。 ※調整は、必ず6本全ての調整ネジを締め込んでください。締め忘れると使用中に位置がズレてしまいます。</p>	

# □スイングドア【フィット専用】

フィット

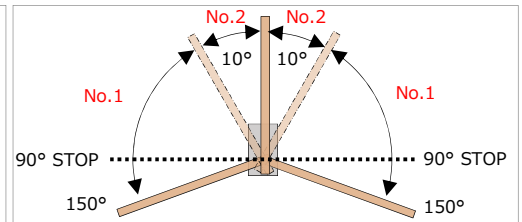
施工手順書2021/10更新

## 11 開閉速度の調整

- ① 扉側の下部ヒンジにある速度調整ネジを回して開閉速度の調整をしてください。

**【調整範囲】**

- No.1  
開閉角度 10°~150°
- No.2  
開閉角度 0°~10°



扉側の下部ヒンジにある開閉速度調整ネジ（No.1及びNo.2）をマイナスの手動ドライバーで回して開閉速度を調整

**注意**

- ※No.1とNo.2の開閉速度の差を極端に変化させないでください。
- ※No.1とNo.2それぞれの開閉速度調整ネジを締め過ぎないでください。締め過ぎると扉が動かなくなります。
- ※No.1とNo.2の開閉速度調整ネジを必要以上に回転操作すると、閉扉動作に支障をきたしたり、油が漏れ出るおそれがあります。

## 12 フロアヒンジの各カバーの取付け

- ① 【扉側ヒンジのカバー取付け】

**上側**

カバーをビス（M5×25 半ネジ）で取付けてください。  
※ビスは扉側上部ヒンジで使用したビスと同じものです。

**下側**

カバーをヒンジカバー取付けビス2本で取付けてください。



上側カバーをビスで取付け

下側カバーを付属のビスで取付け  
※強く締め過ぎないように注意

- ② 【下部フロアヒンジ受けのカバー取付け】

下部フロアヒンジ受けに、戸先側と戸尻側からカバーを嵌め込んでください。



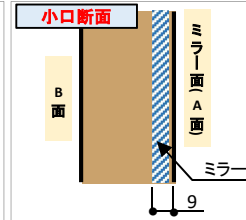
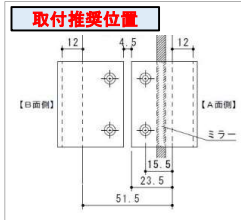
下部フロアヒンジ受けのカバー取付け

**注意**

- ※扉側のカバーをビス止めする時は、手動ドライバーで取付けてください。締め過ぎると、カバーが変形する恐れがあります。

## 13 ハンドルの取付け

① ハンドルの取付ける位置を決め、下穴加工をしてください。



ハンドルの取付け位置に合わせて  
下穴（約φ2.5）をあける

※ビスがミラーに  
干渉しないようにする

同梱ビスでハンドルを取付けてください。



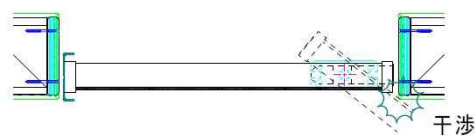
手動ドライバーで、  
同梱ビス(M3×32)でハンドルを取付ける

**注意**

・ハンドルを取付ける際、ミラー面側に寄りすぎないように注意してください。ミラー面に寄りすぎるとビスとミラーが干渉します。  
必ずA面側の取手寸法が13mm以内、B面側の取手寸法が20mm以内で取付けてください。

## 14 床付け戸当たりの取付け（オプション）

① 床付け戸当たりを取付ける場合は、扉の中央より戸先側に当たるように床に取付けてください。  
吊元側に取付けると床付け戸当りに悪影響を与える恐れがあります。



幅木や壁と扉が干渉する場合は戸当たりを取付ける  
150度以上開かない様に戸当たりを取付ける

**注意**

※戸当りは戸先側に当たるように取付けてください。戸尻側に取付けると戸当りが破損する恐れがあります。  
※150度以上開かないように戸当たりを取付けてください。150度以上開けると金物が破損する恐れがあります。  
※オプションの床付け戸当たりを取付ける場合は、扉を勢いよく開けないよう注意してください。  
勢いよく開けると、床付け戸当たり及びヒンジ等の破損の原因となります。